

東京湾海況情報 12 - 19

東京湾水質&のり場環境調査結果

平成 12 年 10 月 5 日
千葉県水産試験場 富津分場
〒293-0042 富津市小久保 3091
0439-65-3071

資料：水質観測（10/2 内房海域：第2ふさみ丸 東京内湾：わかふさ）
一都三県漁海況速報，東京湾口海況図，相模湾・伊豆諸島近海海況速報

東京湾水質観測結果（平成12年10月分）

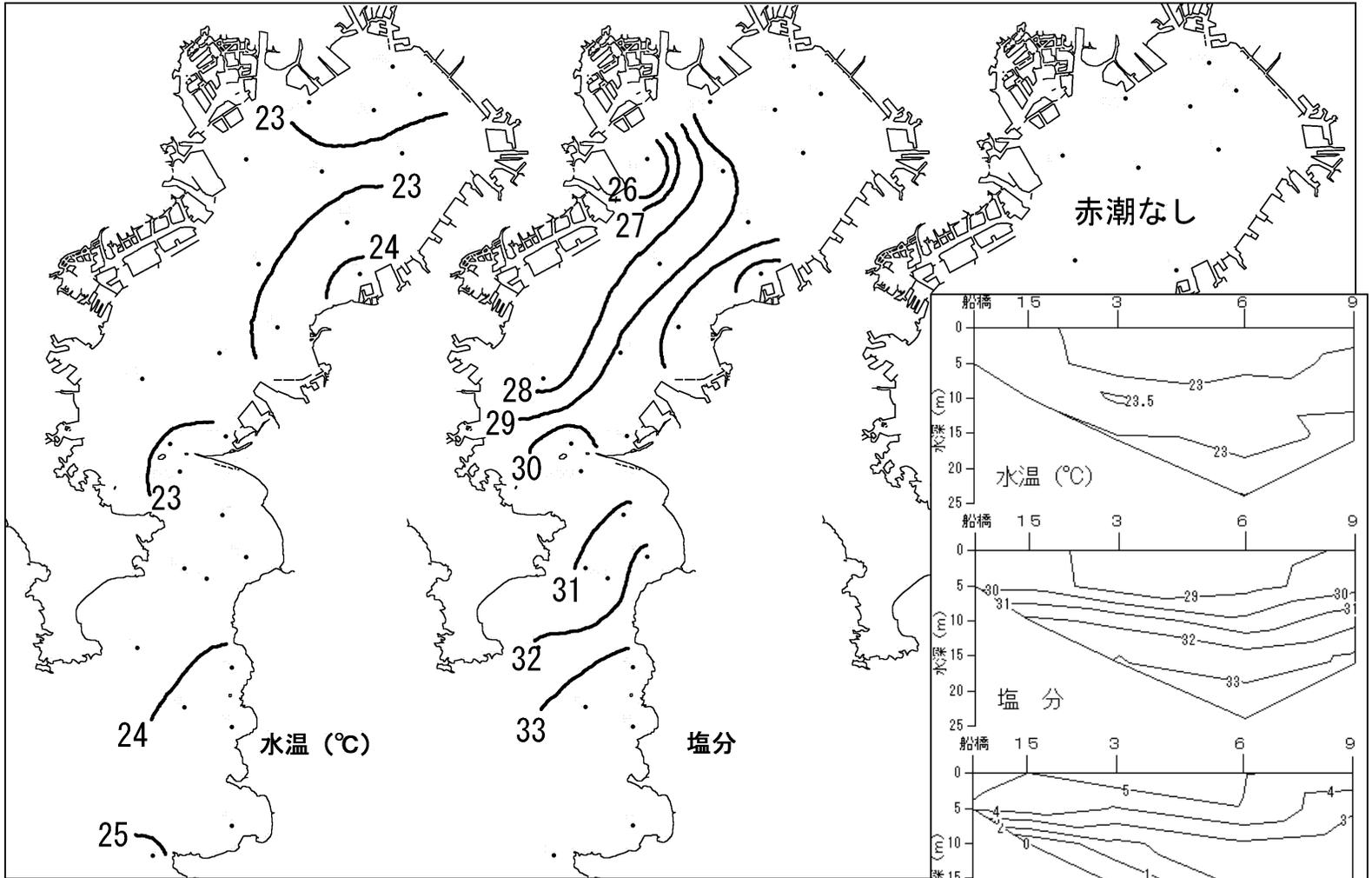


表1 表層の水温，塩分と赤潮の状況

水温・塩分の状況（図1～3，表1）

表層の水温は22～25，塩分は25～33でした。

内湾縦断面の鉛直分布をみると水温22～23台，塩分28～33でした。

内房海域では水温21～24，塩分30～34でした。

赤潮の状況（図1，4，表1）

今回の調査では赤潮はみられませんでした。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は内湾で5～55 $\mu\text{g/L}$ ，内房海域で0.6～10 $\mu\text{g/L}$ と低い値です。

内湾の主なプランクトンは珪藻類で、*Pseudo-nitzschia multistriata*，*Thalassiosira* spp.，*Leptocylindrus* sp. などが多いようです。

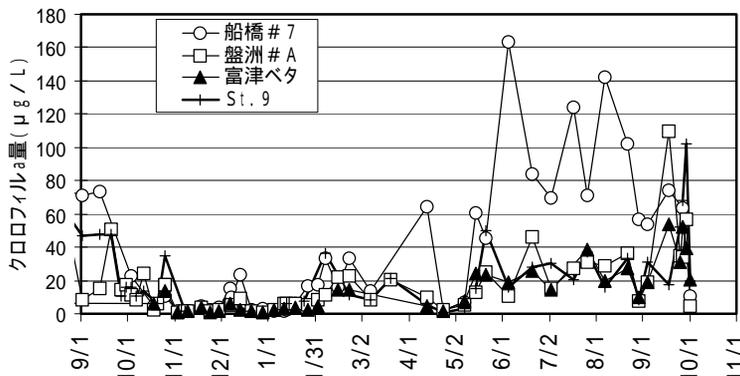


図4 クロロフィルa量の変化

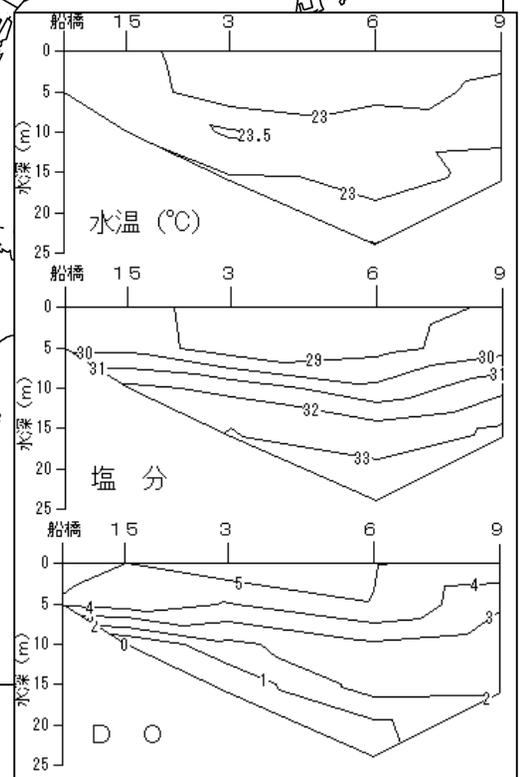


図2 内湾縦断面の鉛直分布

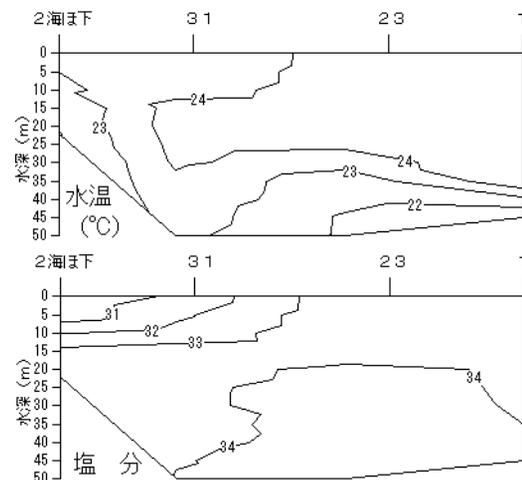


図3 内房縦断面の鉛直分布

低酸素水塊の状況 (図2, 5)

底層の低酸素水塊は徐々に縮小されてきていますが、依然広い範囲を占めています。10月3日から湾奥で青潮が発生しています。今後も注意してください。

表層の栄養塩類 (表1)

溶存無機態窒素 (DIN) は内湾で100~240 μg/L, 内房で28~202 μg/L, リン酸態リンは内湾で7~25 μg/L, 内房で3~11 μg/Lでした。いずれも平年値を下回っています。

とくに少ないリン酸態リンは鉛直分布からみてもわかるように、内湾では底層との上下混合が進むと増加が期待されますが、内房海域では大幅な増加はすぐには望めません。

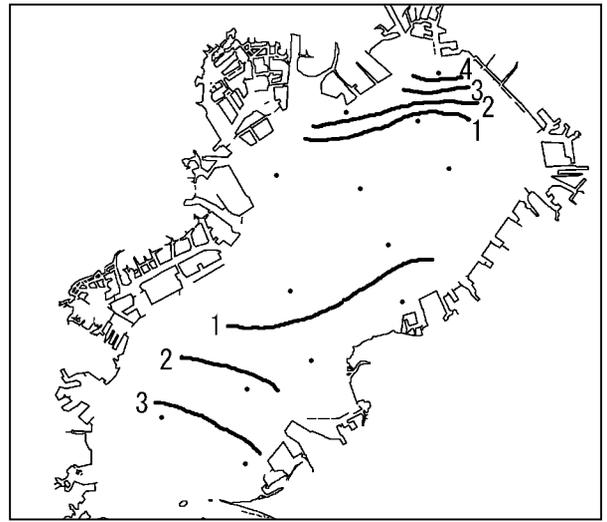


図5 底層のDO分布 (ml/L)

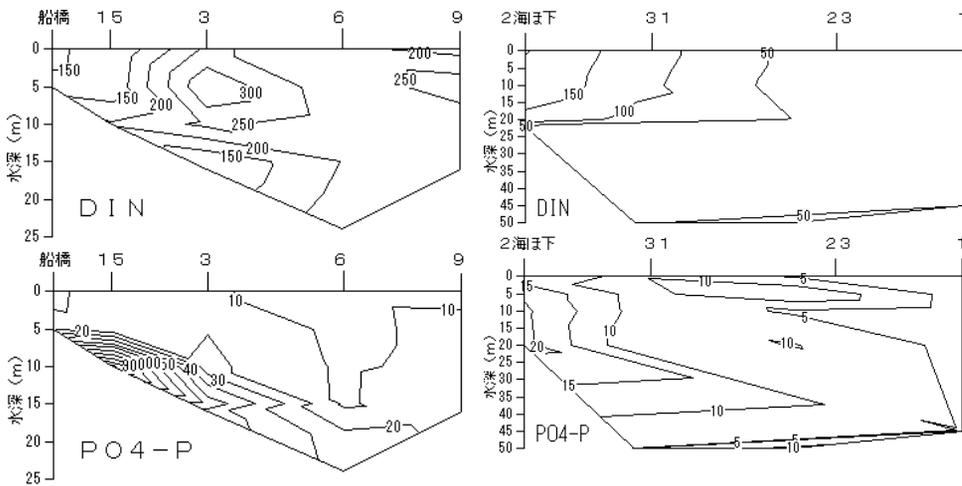
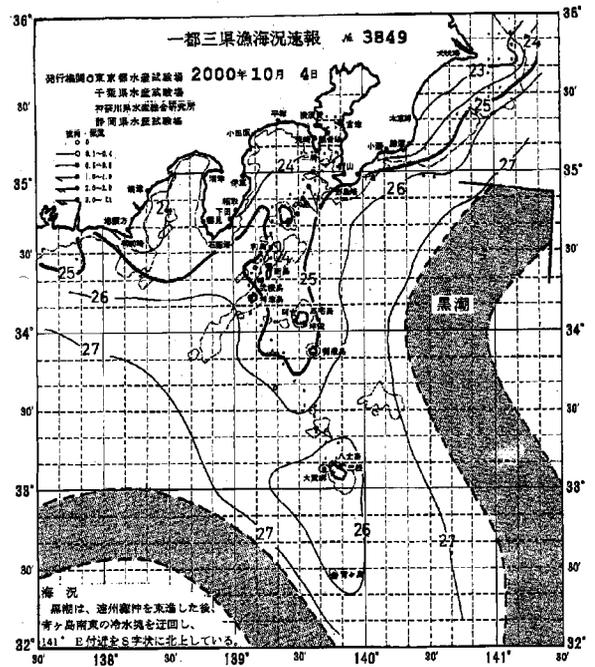


図6 内湾 (左) と内房海域の栄養塩類の鉛直分布



黒潮の動き (図7, 8)

10月4日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は房総半島をやや離岸して流れています。湾内の潮位偏差も低下してきています。沖合水の影響は少ないようです。

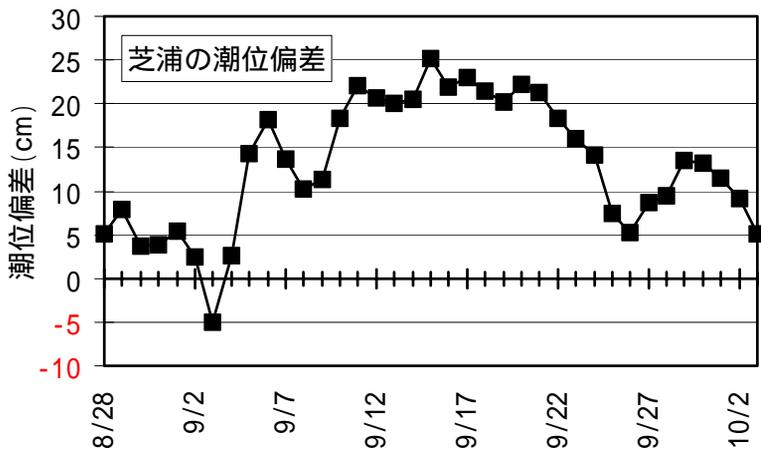


図8 湾内の潮位偏差 (三管資料)

表1. 水質調査結果 (表層)

調査年月日:平成12年10月2日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa量 (μg/L)
船橋	4.0	23.1 (21.0)	29.27 (28.25)	8.5 (8.2)	169 (685)	23 (71)	10.3
St. 15	4.5	23.2 (21.0)	29.63 (28.42)	8.5 (8.3)	100 (516)	11 (35)	11.1
st. 3	2.0	22.6 (21.0)	28.23 (27.75)	8.5 (8.3)	261 (556)	11 (33)	55.2
St. 6	2.8	22.9 (21.1)	28.57 (28.46)	8.4 (8.3)	208 (515)	8 (34)	26.0
St. 9	3.8	22.9 (21.1)	29.14 (29.33)	8.5 (8.3)	185 (456)	7 (28)	19.6
盤洲Cブイ	4.5	24.1 (21.6)	31.30 (30.34)	8.3 (8.2)	241 (372)	24 (31)	10.2
St. 8	6.0	23.2 (20.9)	30.92 (29.85)	8.2 (8.2)	220 (413)	25 (35)	4.8
盤洲Aブイ	6.0	23.0	29.20	8.4	212	8	20.5
第2海ほ下	6.0	23.0 (21.2)	30.32 (30.28)	8.3 (8.2)	202 (403)	11 (33)	5.9
st. 31	7.0	23.2 (21.4)	31.12 (31.04)	8.4 (8.3)	127 (327)	10 (26)	10.6
st. 23	15.0	24.4 (22.8)	33.72 (33.27)	8.4 (8.3)	35 (117)	4 (11)	0.8
st. 1	17.0	25.0 (24.2)	33.85 (33.57)	8.3 (8.3)	34 (50)	5 (7)	0.6
St. 10 (下洲沖)	7.0	23.0 (21.3)	31.16 (30.94)	8.3 (8.2)	149 (332)	9 (28)	
St. 12 (湊沖)	5.0	23.6 (21.3)	32.42 (30.94)	8.3 (8.3)	69 (308)	7 (23)	
St. 22 (保田沖)	5.0	24.3 (22.6)	33.83 (32.95)	8.3 (8.3)	28 (134)	3 (11)	
St. 24 (富浦沖)	18.0	24.3 (22.8)	33.90 (33.54)	8.3 (8.3)	36 (95)	4 (9)	
St. 26 (館山湾内)	20.0	24.4 (22.9)	33.75 (33.54)	8.3 (8.3)	45 (82)	4 (9)	

(): 過去10年間の平均値

のり漁場環境調査結果 (9 / 29)

図表のみとします

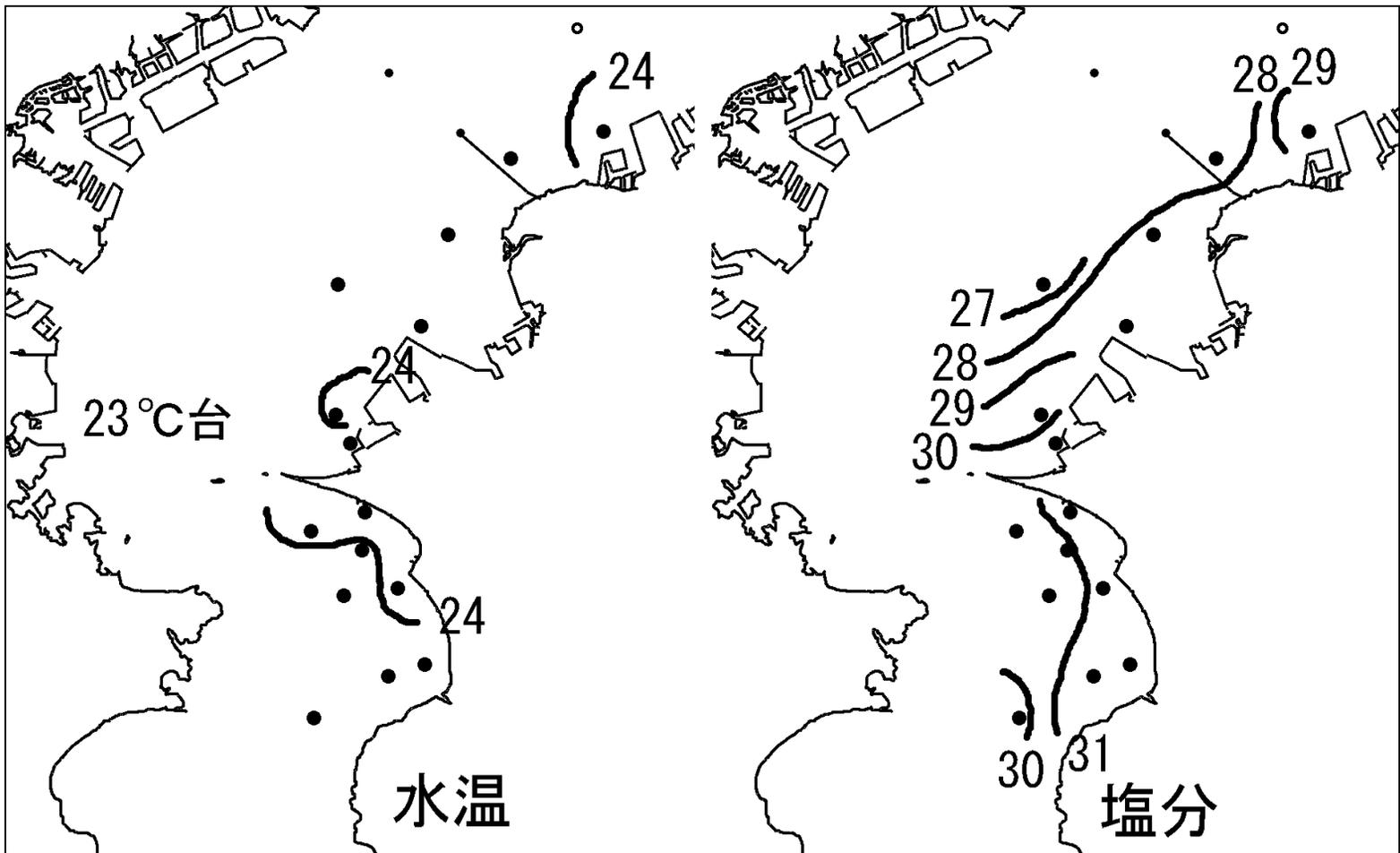


図9 表層の水温, 塩分

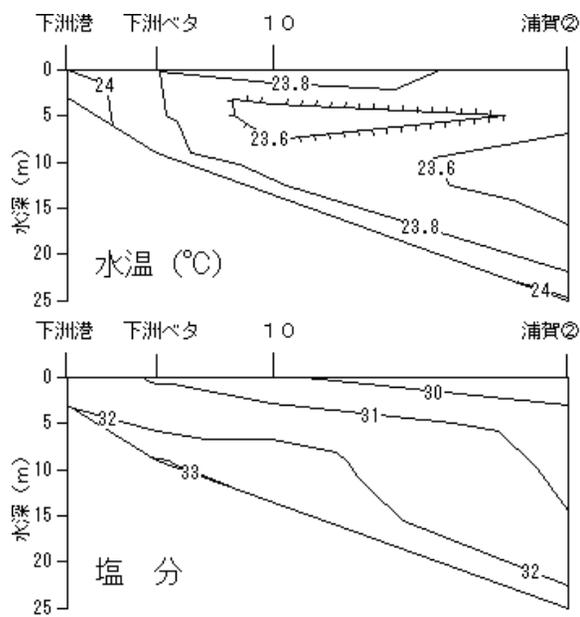


図10 内房地区の鉛直分布

表2 水質観測結果(表層)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	溶存態窒素(μg/l)	リン酸態リン(μg/l)	クロロフィルa量
盤洲Cブイ	1.9	24.5	29.0	8.7	29	3	45.9
盤洲Bブイ	1.5	23.8	27.2	*8.7	94	2	87.8
盤洲Aブイ	1.5	23.9	28.2	8.7	43	4	57
st. 9	1.4	23.4	26.3	*8.7	102	4	102
木更津	2.2	23.5	28.7	8.5	56	3	
富津ベタ	2.3	24.4	29.8	8.5	133	3	39.7
富津赤灯	底	23.9	30.1	8.3	73	3	
下洲港口	3.0	24.0	31.6	8.4	36	3	
1海ほ下	3.7	24.0	30.2	8.3	75	2	
下洲ベタ	3.5	23.8	30.9	8.3	58	2	
大貫ベタ	3.0	24.1	31.2	8.5	26	4	
st. 10	3.0	23.9	30.1	8.5	64	2	
湊ベタ	3.0	24.0	31.1	8.5	20	1	
st. 12	3.3	24.0	31.2	8.5	24	2	
浦賀2番ブイ	2.5	23.7	29.1	8.6	72	2	